

ユーロ・ジャパニーズ・エクスチェンジ・ ファンデーション

EURO-JAPANESE EXCHANGE FOUNDATION

岩永 照子 河端勢津子

1. 機関概要

名称：THE EURO-JAPANESE EXCHANGE FOUNDATION LIMITED

住所：EJEF STUDY CENTRE, LANE END, HIGH WYCOMBE, BUCKINGHAMSHIRE HP14 3HH UK
EJEF研修施設はロンドンの北西55キロ（ロンドンとオックスフォードの間）のチルトーン丘陵に囲まれた英国の田園地帯に位置する。温水プールをはじめ、9ホールのゴルフ場、テニスコートなどのスポーツ施設も整っている。

設立：A COMPANY LIMITED BY GUARANTEE（和訳：保証に基く有限会社）として1973年9月、英国に設立された100%英国の会社。

目的：日本およびヨーロッパ（特に英国）間の、主にビジネスにおける相互理解を深める事を目的として設立された教育機関。

2. 事業概要

英語部：日本の企業、金融機関、外務省、通商産業省、特許庁などから派遣される研修生の為のビジネス英語コースをベースとした、各種専門分野のニーズに応じた研修プログラムの企画と実施。期間は1カ月～8カ月。全コース、EJEF STUDY CENTRE で実施。

日本語部：教師数 60名

①EJEF STUDY CENTRE における集中コース

対象：英国企業、外務省 (FCO)、通商産業省 (DTI)、国防省 (MOD) から日本へ派遣される方々。

レベル：初心者から上級者まで（おもに個人授業）

教材：学習目的・達成目標が異なるので使用教材も多岐にわたるが、主なものは下記の通りである。

初級：Japanese for Busy People Vol. I & II

Japanese for Everyone

新旧日本語の基礎 など。

中上級：Japanese Life Today

テーマ別 中級から学ぶ日本語

Modern Japanese for University Students

上級で学ぶ日本語

新聞記事、サテライト中継放送 など。

また、各技能を伸ばすために使用している教材は下記の通りである。

- 書く・・ひらがな・カタカナ練習帳 (EJEF 開発) 基本漢字500 Vol.1 & 2
漢字1000 PLUS
Kanji in Context Workbook Vol.1 & 2
日本語初歩漢字練習帳 など。
- 読む・・リーダー (EJEF開発)
どンドン読めるいろいろな話
実力UP スピード読解
新聞・雑誌の記事 など。
- 話す・・ロール・プレイ・タスク集 (EJEF開発)
英国で実施されている各種日本語試験のOral部分過去の問題など。
- 聴く・・絵とタスクで学ぶ日本語
24 Tasks For Basic Modern Japanese
ニュースで学ぶ日本語
毎日の聞き取り50日 上下
日本のラジオ・テレビの生教材 (テープやビデオなど:EJEF 東京支部で録音録画) など。

授業時間数：学習目的・達成目標に応じて1週間～8カ月の集中コース。

②ロンドン企業内コース 受講者数 約300名

対 象：日本駐在を控えたビジネスマン、日本企業および現地企業における英国人スタッフ、弁護士、公認会計士、マネージメント・コンサルタント、医師。

レベル：初心者から上級者まで。

教 材：学習目的・達成目標は上記①よりさらに広範にわたる為、市販されている教材はすべて使用といっても過言ではないほど多岐にわたる。

③日本航空集中コース 受講者数 約200名

対 象：英国人客室乗務員

レベル：初級・中級

教 材：客室乗務員向け特別教材およびJapanese for Busy People Vol.1

④JETプログラム集中コース (1978年～現在まで)

対 象：英語教師助手として日本に招かれるJapan Exchange and Teaching Programme参加者。

レベル：初級・中級・上級

教 材：Japanese Language Text Beginning Level Book One published by CLAIR (The Council of Local Authorities for International Relations) 他。

⑤Royal Society of Science集中コース

対 象：交換教授プログラム参加者。

レベル：初級

教 材：Japanese for Busy People Vol.1 , 絵とタスクで学ぶ日本語 など。

⑥American School in London

対 象：日本語を外国語としてインターナショナル・バカロレアを受験する者、および日本語を母語としてインターナショナル・バカロレアを受験する者。

レベル：初級・中級・上級

教 材：日本語を外国語としてのコース：日本語初歩、にほんごかんたん など。
日本語を母語としてのコース：砂の女、恍惚の人、夕鶴、甘えの構造 など

⑦GCSE及びAレベル通信教育コース

対 象：英国の中学卒業資格試験 (GCSE) および高校卒業資格試験 (Aレベル) 受験者

レベル：初級・中級

教 材：過去の試験問題

⑧日本語教師養成コースおよび定期日本語研究会

対 象：日本語を母語とし、EJEFの英語テスト等、面接に合格した者。

レベル：初級・中級・上級

教 材：初級コースではJapanese for Busy People Vol.1 & 2を主教材としている。
中級上級は上記①教材を参照のこと。

3. 問題点・展望など

学習者は全員が仕事をもっており、そのほとんどが雇用者がスポンサーとなり受講しているが日本語だけに専念できる環境にはない。従って、宿題や予習・復習を定期的に行うことは期待できない。反面、さすがに社会的に活躍している方々だけあって授業内での集中力・理解力は素晴らしい。そこで自己学習に頼らず授業時間内で効率よく教えることを心がけている。そのためにインパクトのある導入、効率の良い練習、応用力の育成に力を入れている。これは授業時間数の短縮にもつながり、成果を上げている。

また、学習分野が多岐にわたるが、法務・保険・金融業務など専門分野に及ぶ場合はその専門知識を英語・日本語両方で操ることができる教師を配置するようところがけている。

日本語教授を通して日本の文化・ビジネス習慣なども教え、日英のかけはしとなる人材育成に貢献し続けたい。